

自ら新たな価値を発見し 将来のキャリアをデザインする

パハリ ハリ バハドゥル (17期生)
Hari Bahadur Pahari



— 入学を決めたきっかけ・理由

私は、ネパールからの元留学生で学部卒業後、現在は建設業界の総合設備会社に勤めています。そして今年の春に社会人入試制度でRBSに入学しました。立教大学大学院への入学を決めた理由は、二つがあります。

一つ目はRBSのMBAには、「ゼネラリストのスペシャリスト」を養成するため複数の科目が構成され、全般的に経営学の勉強ができ多種多様な知識を取得することができるからです。

二つ目は、色々な分野で社会経験している方々は勿論ですが、多国籍の留学生もいて、このような仲間と知的交流もでき視野を広げることができるからです。

— 実際に入学してからの感想

私は今、わくわくしながら通学しています。昼は、仕事をしているため平日夜2日間と土曜日の授業に出ています。春学期は、16単位を登録していますが、どの授業も私にとっては新しい内容なのでとても面白いです。経営財務の授業では、チームが作られ、そのチームで業界研究をした上、企業の動向を調査し、資料を纏めます。そして、プレゼンを行います。このような研究で自ら企業の動向について調べることができることもにグループワークで意見交換もでき、毎回刺激を受けています。その他科目はテクノロジーマネジメント、グローバル経営戦略、会計学基礎等の学習プラン

を立てました。また、4月末に多くの同期で“飲みニケーション”を行い、お互いに交流を深めました。グローバル化へ進んでいる今の時代は、卒業後も今の仲間を大事にしたいと考えています。

— 今後取り組んでいきたいこと

今後の取り込みとしては、まず、秋学期のビジネスシミュレーション科目の他、興味がある科目を履修し、一年間で、経営の基礎から専門及び応用科目の知識を取得します。二年日は、修士論文に集中しながら将来のキャリアを計画していきたいと思います。

ホテル業界に貢献できる 人材になるために

大坪 若菜 (17期生)
Wakana Otsubo



— 入学を決めたきっかけ・理由

私はこの3月まで4年間正社員として電鉄系ホテルに勤務していましたが、日々の業務に追われ、マネジメントに接する機会がなく、常々ホテル経営について学びたいと思っておりました。そのような折、この研究科の後期課程(DBA)修了者である父からRBSはホテル業界に必須である「ホスピタリティ」に力を入れているということを聴きました。そして昨年11月に参加した説明会で、ホテル関係のカリキュラムが豊富に用意されていることを知ったことがRBSに決めた理由です。

— 実際に入学してからの感想

様々な業種で働く同期の方々と一緒に学び、自分が知識不足であることを実感しました。良い刺激を受け、入学前より向上心が湧いてきました。ホテル分野は勿論、その他の幅広い分野も学べるのでとても視野が広がります。一見ホテルとは関連なさそうな分野でもホテルマネジメントと関わっていることを知り、今まで見えなかったものが見えてきた気がします。

— 今後取り組んでいきたいこと

私はキャリアアップのためにホテルを

退職して、RBSに入学を決めました。2年後にMBAを取得して、東京オリンピック・パラリンピック開催に向け、ホテル業界に復帰したいと考えております。社会人として培った実践力を、理論と照らし合わせて体系的に理解を深め、ホテル業界に貢献できる人材となるべく研究活動に取り組んでいきます。